

## 評価書(総合評価方式)

### 対象となる施策

行政機関が行う政策の評価に関する法律に基づき、本書では「情報システムの整備」について、事後評価を行う。

### 評価の方針

デジタル庁における事後評価は、基本的に行政事業レビューにおいて代替することとし、総合評価方式での評価を行う場合には、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」の記載も考慮して評価を行う。

### 評価の概要

上記の方針の通り、評価の結果については、基本的に「情報システムの整備(情報通信技術調達等適正・効率化推進費)」の行政事業レビューシートを参照すること。また、本施策中のシステムごとの行政事業レビューシートにおいては、「重点計画」等の全体戦略の企画・立案や政府全体のシステムの統括・監理を実施するための基礎データの整備」をアウトプット目標としたシステムもあり、重点計画に沿って適切な国の情報システムの統括・監理が行われているため、引き続き、取り組む。

なお、学識経験を有する者からは、総論的に下記の意見を受けたため、補足として記載する。

- 定性的なアウトカムが設定されているシステムについては、定量的なアウトカムの設定を引き続き検討し、施策の推進に努めること。
- 定量的なアウトカムを設定しているシステムについては、設定したアウトカム目標を達成できるよう、引き続き、施策の推進に努めるとともに随時、見直しを行うこと。

<デジタル社会の実現に向けた重点計画(関係部抜粋)>

## 5. デジタル社会を支えるシステム・技術

### (1) 国の情報システムの刷新

#### ② 国の情報システムの整備・管理

デジタル庁は、国民・事業者の利便性の向上を図るため、国の情報システムの統括・監理等により、国の情報システムの統合・共通化を促進し、民間システムとの連携を容易にしつつ、利用者目線での行政サービスの改革と情報システムの改革を一体的に推進する。また、各府省庁の情報システムに関する情報(契約額、プロジェクトの進捗等)を集約し、データの分析・利活用を行い、国の情報システムの統括・監理の実効性の確保を図る。

令和5年度行政事業レビューシート ( デジタル庁 )

<b>事業名</b>	情報システムの整備 (情報通信技術調達等適正・効率化推進費)			<b>担当部局</b>	戦略・組織グループ	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	令和3年度	<b>事業終了 (予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	会計チーム 政府DXチーム	杉本参事官、帆足参事官、 北間参事官		
<b>会計区分</b>	一般会計							
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	デジタル庁設置法(令和3年法律第36号)第4条第2項第17号、第18号			<b>関係する 計画、通知等</b>	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議 決定)			
<b>政策</b>	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>施策</b>	情報システムの整備							
<b>政策体系・評価書URL</b>	<a href="https://www.digital.go.jp/policies/assessment/">https://www.digital.go.jp/policies/assessment/</a>							
<b>事業の目的 (5行程度以内)</b>	各府省が行う情報システムの整備・運用に関する各プロジェクトが、共通機能の活用等の政府方針に沿っているかという観点から、各府省と連携し一元的なプロジェクト監理を実施するとともに、この結果を予算要求や執行に反映させるため、デジタル庁が情報システム関係予算を段階的に一括計上する。これらの取組を通じて「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を目指す。							
<b>現状・課題 (5行程度以内)</b>	デジタル庁の設置に伴い、各府省庁が整備・運用していた情報システムのうち、各府省庁が共通で利用するシステム、各府省庁がシステムを整備する上で基盤となるシステム、緊急性が高く、かつ、政策的に重要なシステム等がデジタル庁に移管されるとともに、新たな情報システムの検討・整備も始まった。しかし、政府情報システムは、これまでそれぞれ独自の方針等に基づき整備等が行われてきたもので、各情報システム間の関係、統合や機能の共通化の可能性等が十分に整理されておらず、重複や非効率が発生しているという課題がある。このため、各情報システムにおける業務改革(BPR)の推進、共通機能の活用の徹底等を図るため、政府情報システムの整備及び管理に関する共通ルールである「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」の整備や、国の情報システムの一元的なプロジェクト監理を実施する。							
<b>事業概要 (5行程度以内)</b>	国の行政機関が行う情報システムの整備及び管理に関する行政各部の事業の統括・監理 デジタル庁が各府省と連携して、以下の取組を実施 ・年間を通じて、予算要求段階、執行段階の予算プロセスにおいて、プロジェクトの各フェーズに応じたレビューの実施 ・政府の共通ルールの整備 国の行政機関が行う情報システムの整備及び管理に関する事業 ・デジタル庁における情報システム関係予算の一括計上、配分							
<b>事業概要URL</b>	<a href="https://www.digital.go.jp/policies/development_management/">https://www.digital.go.jp/policies/development_management/</a>							
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負、補助、交付							
<b>補助率等</b>	-							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)</b>	<b>予算の 状況</b>	当初予算(A)	-	28,679	460,053	481,188	567,040	
		補正予算(B)	-	90,102	111,933	163,183		
		令和5年度第1次補正予算					163,183	
							-	
							-	
							-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	35,254	65,183	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	▲ 35,254	▲ 65,183	-	-	
		予備費等(E)	-	▲ 24,070	▲ 424,818	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	59,457	117,239	709,554	709,554	567,040
執行額(G)	-	58,221	112,919					
執行率(%) =(G)/(F)	-	98%	96%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	49%	20%					
<b>令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算項・目</b>		<b>令和5年度当初予算</b>	<b>令和6年度要求</b>	<b>主な増減理由(・要望額・予備費)</b>			
	(項)	情報通信技術調達等適正・効率化推進費			重要政策推進枠:118,773			
	(目)	情報処理業務庁費	443,183	537,851				
	(目)	マイナンバーカード関係システム事業費補助金	32,512	22,137				
	(目)	情報通信技術調達等適正・効率化推進委託費	5,074	6,938				
	(目)	預貯金口座情報提供等業務交付金	389	69				
	(目)	諸謝金	18	3				
	(目)	委員等旅費	7	34				
	(目)	職員旅費	5	8				
	(目)	その他						
	計(A)	481,188	567,040					

活動内容① (アクティビティ)		デジタル庁が各府省と連携して、年間を通じて、予算要求段階、執行段階の予算プロセスにおいて、プロジェクトの各フェーズに応じたレビューを実施し、共通機能(うち、特に重要な共通基盤であるGSS・ガバメントクラウド)の活用等を徹底する。									
↓											
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		デジタル庁におけるレビューの実施	実施数	活動実績	件数	-	-	1,083	-	-	
				当初見込み	件数	-	-	-	-	-	
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	プロジェクトの各フェーズに応じたレビューの実施により、プロジェクトが検証される過程において指摘がなされることで、プロジェクトの改善が図られることから、短期のアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
		デジタル庁におけるレビューの実施による指摘	指摘件数	成果実績	件数	-	-	171	-		
				目標値	件数	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		政府DXチームがその業務において指摘を実施した件数									
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	プロジェクトの各フェーズに応じたレビューの実施により、プロジェクトが検証される過程で指摘がなされることで、共通機能の活用を含む形でプロジェクトの改善が図られることから、長期のアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
		デジタル庁が整備する共通機能の活用の徹底	運用開始された共通基盤(GSS・ガバメントクラウド)の数	成果実績	件数	-	-	7	-		
				目標値	件数	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ガバメントソリューションサービス班、ガバメントクラウド担当がそれぞれの業務において各府省庁の共通基盤への移行を把握した件数									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

<b>活動内容② (アクティビティ)</b>		デジタル庁が実施するレビュー(予算要求レビュー及び執行段階レビュー)を通じて、国民向けシステム(オンライン手続・申請、Webサイト等)について、利用者の視点を踏まえたUI・UXの向上が実現されるよう、チェックリストに基づく確認を実施するとともに、その改善に向けた調整を行う。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		年間10万件以上の国民等、民間事業者等向けWebアプリケーションについて点検を実施。	点検実施件数	活動実績	件数	-	-	-	-	-
				当初見込み	件数	-	-	-	40	40
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		チェックリストに基づく点検が実施され、フィードバックを受けた改善がなされることにより、まずはチェックリストのうちレベル1への適合が図られることから、短期のアウトカムとして設定した。								
<b>成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		チェックリストのうちレベル1(重要性が高く、かつ比較的対応しやすいもの)への適合	チェックリストのうちレベル1への適合率	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		政府DXチームがその業務において点検を実施した件数及びチェックリストのうちレベル1への適合を確認した件数								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
<b>成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>										
↓		成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		チェックリストに基づく点検が実施され、フィードバックを受けた改善がなされることにより、まずはチェックリストのうちレベル1への適合が図られ、次第にレベル2、3への適合が図られることから、長期のアウトカムとして設定した。								
<b>成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度	
		チェックリストのうちレベル2及び3(ユーザーが使いやすいWEBサイトにするために必要と考えられている要素)への適合	チェックリストのうちレベル2及び3への適合率	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		政府DXチームがその業務において点検を実施した件数並びにチェックリストのうちレベル2及び3への適合を確認した件数								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容③ (アクティビティ)</b>		一元的なプロジェクト監理、情報システム関係予算の一括計上の取組を通じて、BPRの徹底により必要最小限のコストでデジタル化の効果を最大化するシステム改革を推進し、コスト構造の最適化を図り運用等経費をデジタル化に係る投資に振り向ける。 また、プロジェクト計画書等のドキュメントの適切な整備を推進することで、事業者の新規参入が可能となる環境を整備し、適切な予算執行の実現を図る。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		プロジェクト計画書の適切な整備	プロジェクト計画書を整備しているシステム数	活動実績	システム数	-	-	-	-	-
				当初見込み	システム数	-	-	-	-	-
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		プロジェクト計画書等のドキュメントの適切な整備を推進することで、事業者の新規参入が可能となる環境を整備し、適切な予算執行の実現が図られ、コスト構造の最適化により運用等経費をデジタル化に係る投資に振り向けられることから短期のアウトカムと設定した。								
<b>成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 令和 年度	
		投資的整備(新規、更改、改修)額の増加	投資的整備(新規、更改、改修)額の増加	成果実績	億円	-	-	-	-	
				目標値	億円	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		デジタル庁がその業務において把握する金額								
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
<b>成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 令和 年度	
		-	-	成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		-								
↓		成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		投資的整備(新規、更改、改修)額の着実な増加により、コスト構造の最適化を図ることで投資的整備(新規、更改、改修)の割合を高めることから、長期のアウトカムとして設定した。								
<b>成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 令和 年度	
		投資的整備(新規、更改、改修)の割合の増加	投資的整備(新規、更改、改修)の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		デジタル庁がその業務において把握する金額								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								



